

## 不適切ごみの現状について

昨年4月から12月までの間に、不適切なごみの出し方でクリーンステーションに残された個数です。

区 分	2019. 4~12	2018. 4~12	主な残された原因	
可燃系ごみ	1,400 個	775 個	生ごみ・不燃系ごみなどが混入	
不燃系ごみ	1,813 個	2,046 個	スプレー缶・フライパン・粗大などが混入	
生ごみ	1,345 個	916 個	水切りネット・ポリ袋などが混入	
資源ごみ	プラ製容器	2,971 個	1,634 個	汚れ・不燃系ごみ（硬プラ）などが混入
	紙製容器	1,556 個	270 個	雑がみ・可燃系ごみが混入
	雑がみ	339 個	147 個	紙製容器・可燃系ごみが混入
	ペットボトル	148 個	97 個	汚れ・ラベルの取り忘れなど
総 数	9,572 個	5,885 個		

※プラ製容器＝プラスチック製容器の略称

前年と比べると、約 **1.6** 倍増という結果です。

少し「このごみは何ごみだろう？」と考えてみて下さい。そして、ごみ分別ハンドブックで確認したり、分からなければ環境保全課に問い合わせ願います。

また、残されたごみは、本人が気づき正しく出し直しする期間として2週間程度は回収しませんが、それでも残っている場合は市で回収し、中を確認して排出者が特定できたときは、個別に指導します。

### 一人のマナー違反が皆を不快にしています

クリーンステーションは、利用者みんなでする大切な場所です。ごみ出しのルールを守り、利用者みんなでする気持ち良く使しましょう。

